

# 平成23年度学校経営計画

校番 54 福山明王台高等学校 全日制 課程 本校

## 1 経営理念

### (1) 地域社会における自校の使命（ミッション）

- ① 確かな学力、豊かな心、たくましい身体を育み、高い志をもって社会に貢献する人材を育成する。
- ② 組織的な学校運営体制を確立し、地域社会や県民から信頼される学校を創造する。

### (2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像（ビジョン）

- ① 知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する学校
- ② キャリア教育の充実により、高い志をもって希望する進路が実現できる学校
- ③ 大学（短大含む）の進学率が80%以上の普通科進学校の学校
- ④ 運動部・文化部への入部率が80%以上で、県大会以上の出場率が80%以上の学校
- ⑤ 保護者・地域から「進学させたい学校」と支持され信頼されている学校

## 2 中期達成目標

### (1) 「知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する学校」

- 「生きる力」を育む教育活動を組織的に実践する。
  - ・教科指導計画（教科マネジメント）、年間行事計画、教務管理計画、生徒指導計画等を作成し組織的に実施する。

### (2) 「キャリア教育の充実により、高い志をもって希望する進路が実現できる学校」

- 教職員研修を企画し、キャリア教育の充実を図る。
  - ・「総合的な学習の時間」の内容をさらに充実させる3年間の指導計画を作成し、実施する。
  - ・高い目標をもたせる面接指導を実施する。（年3回以上）

### (3) 「大学（短大含む）の進学率が80%以上の普通科進学校の学校」

- 進路指導部と学年会が連携し、3年間の進路指導計画を作成し実施する。
  - ・4年制大学進学希望者の内、国公立大学合格率20%以上とする。・到達度学習を導入し、生徒が学習意欲を高める授業を創造する。（大学入試問題研究、研究授業、定期考査における作問会議）

### (4) 「運動部・文化部への入部率が80%以上で、県大会以上の出場率が80%以上の学校」

- 他校よりも部活動が活発で実績を上げている。
  - ・部活動の入部率80%以上を実現する。 ・中学校連携と外部指導者導入を積極的に推進する。
  - ・学校行事や部活動を通じてリーダーを育成する。（リーダー育成研修会の実施）

### (5) 「保護者・地域から『進学させたい』と支持され信頼されている学校」

- 本校の教育活動を公開し、地域に「開かれた学校」を推進する。
  - ・学校から積極的な情報発信を行う。 ・学校評議員会と学校関係者評価委員会の助言と評価を学校経営に活かす。

### 3 環境分析

#### (1) SWOT分析

<p style="text-align: center;"><b>内部環境</b></p> <p style="text-align: center;"><b>外部環境</b></p>	<p><b>強み (S)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模校であるという学校力がある。</li> <li>・進学希望者が多く、95%以上の生徒が進学している。</li> <li>・学校の現状に危機意識をもち、学校改善に意欲的な教員がいる。</li> <li>・施設設備が比較的充実している。</li> <li>・学校行事、生徒会行事（文化祭、体育祭等）が活発である。</li> <li>・県下トップレベルで活躍している部活動がある。</li> <li>・部活動に熱心な教員がいる</li> <li>・指導に従う素直な生徒が多い。</li> <li>・中途退学、転学者が少ない。（952/960定員）</li> </ul>	<p><b>弱み (W)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が組織として十分に機能していない部分がある。</li> <li>・生徒が希望している国公立大学の合格率が低い。</li> <li>・福山明王台高校としての歴史が浅い。</li> <li>・生徒の男女比のバランスが悪い。（女子生徒の増加）</li> <li>・生徒の進路目標が低く、是認しているところがある。</li> <li>・学習に対する基本的習慣が身に付けさせていない。 （予習・復習の定着、家庭学習時間、授業への意欲）</li> <li>・学校評価結果が教育内容に十分に反映されていない。</li> <li>・進路目標が低い生徒が多い。</li> <li>・教科によって学力の差があり、5教科の学力バランスが悪い。</li> <li>・引き継ぎがうまくいかず、マンパワーに頼っている面がある。</li> </ul>
<p><b>機会 (O)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学校、地域社会からの関心が高い。</li> <li>・自由選択制の学校から、普通科高校に学校体制が変わる。</li> <li>・福山市中心部に位置し、環境に恵まれている。</li> <li>・同窓会からの学校支援がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上委員会を中心とした組織的な取り組みを行い、生徒の学力を伸ばす。</li> <li>・外部教育機関との連携を強化する。（高大連携の推進）</li> <li>・「総合的な学習の時間」を体系化し、キャリア教育の充実を図る。</li> <li>・ことばの教育を充実し、コミュニケーション能力を育成する。</li> <li>・国公立大学合格者数の増加を図る。</li> <li>・学校の教育力を高めるため、教職員の人材育成を図る。</li> <li>・外部指導者を導入し、部活動の活性化を図る。</li> <li>・保護者、中学生向けの学校説明会を充実する。（学校紹介ビデオ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道の学校として教育内容を地域社会にアピールする。</li> <li>・教務部、進路指導部、学年会が一体となって学力向上に取り組む計画を立案し実施する。</li> <li>・高い志を育てる教育を企画し実施する。（集団訓練・学習合宿）</li> <li>・中学校や地域と部活動を中心に積極的に連携する。</li> <li>・HPの内容を充実し、学校から積極的に情報発信する。 （月3回以上の更新）</li> <li>・当たり前のことが、当たり前でできる生徒指導の取り組みを行う。（挨拶・服装・時間 「先生がお手本となって実践」）</li> <li>・豊かな心を育む「道徳教育」を推進する。</li> </ul>
<p><b>脅威 (T)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会から進学校としての信頼を得ていない。</li> <li>・交通の便はよいが、学校が丘の上にあり、長い登り坂であるため不評である。</li> <li>・本校の進路指導や学校行事等に保護者が関心をもち、協力する体制ができていない。 （学校行事の参加率等が低い）</li> <li>・地区内において他の普通科校との競合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文武両道の進学校」をキャッチフレーズにオープンスクールの参加者数を増加させるとともに、参加者の満足度をアップする。</li> <li>・大学進学率（短大含む）80%以上の進路指導を推進する。</li> <li>・キャリア教育の充実を図るとともに進路指導体制の確立を図る。</li> <li>・各クラブの入部率とレベルアップを図り、県総体出場クラブ80%以上を達成する。</li> <li>・保護者に「文武両道の進学校」の教育内容を理解して頂くと共に、学校から積極的に情報発信を行う。</li> <li>・学校行事の中身を充実させて積極的に外部に公開する。 （学校へ行こう週間、文化祭、体育祭、公開授業、授業参観等）</li> <li>・普通科進学校として、生徒や保護者の期待に応える教育課程を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織マネジメントにおける目標の連鎖を明確にし、分掌間の風通しが良くなる組織環境を形成する。</li> <li>・教育目標達成のために対策委員会（チーム）を結成し実働する。</li> <li>・授業の質を高める年間計画を作成し、生徒の学習意欲を高める授業研究を企画する。（教科指導力の向上）</li> <li>・進路指導部と学年会との連携を図り、3年間を見通した進路指導の計画を作成して実施する。</li> <li>・服務規律を確保するため、教職員の不祥事が起こらない学校の風土を形成する。</li> <li>・生徒指導上の課題である遅刻を減少させる取り組みをする。</li> <li>・教育相談会議を定例会開催し、長期欠席生徒の指導を組織的に行う。</li> <li>・「体罰・セクハラ相談窓口」設置を周知し、機能させる。</li> </ul>

(2) 現状の分析

項目	数量的分析																																																																																																																		
1. 入学者の状況（進路希望状況）	<p data-bbox="504 220 963 252">1. 入学者の状況（ステイパートより）</p> <table border="1" data-bbox="600 288 1523 608"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年制大学</td> <td>48.3</td> <td>53.1</td> <td>53.2</td> <td>40.5</td> <td>41.8</td> </tr> <tr> <td>短期大学</td> <td>7.2</td> <td>6.6</td> <td>7.7</td> <td>11.3</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>専門学校</td> <td>22.5</td> <td>16.6</td> <td>17.3</td> <td>20.0</td> <td>23.8</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>3.1</td> <td>3.8</td> <td>2.2</td> <td>2.8</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>17.8</td> <td>18.1</td> <td>17.6</td> <td>22.8</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.0</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="566 647 1856 715" style="list-style-type: none"> <li>・大学進学を希望する者が多いが、専門学校・就職希望と多様である。未定者が約2割である。</li> <li>・専門学校を希望するものの内、約6割が看護専門学校を希望しており、年々その割合は増加している。</li> </ul>													選択肢	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	4年制大学	48.3	53.1	53.2	40.5	41.8	短期大学	7.2	6.6	7.7	11.3	11.6	専門学校	22.5	16.6	17.3	20.0	23.8	就職	3.1	3.8	2.2	2.8	3.1	未定	17.8	18.1	17.6	22.8	19.7	その他	0.0	0.9	1.5	2.2	0.0																																																												
選択肢	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度																																																																																																														
4年制大学	48.3	53.1	53.2	40.5	41.8																																																																																																														
短期大学	7.2	6.6	7.7	11.3	11.6																																																																																																														
専門学校	22.5	16.6	17.3	20.0	23.8																																																																																																														
就職	3.1	3.8	2.2	2.8	3.1																																																																																																														
未定	17.8	18.1	17.6	22.8	19.7																																																																																																														
その他	0.0	0.9	1.5	2.2	0.0																																																																																																														
2. 合格状況及び進路状況	<p data-bbox="504 794 728 826">2. 進路決定状況</p> <table border="1" data-bbox="607 863 1518 1262"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度卒業</th> <th colspan="2">就職</th> <th rowspan="2">専門学校</th> <th colspan="2">短期大学</th> <th colspan="3">四年制大学</th> <th colspan="2">文部省管外</th> <th colspan="3">その他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>就職</th> <th>就職進学</th> <th>公立</th> <th>私立</th> <th>国立</th> <th>公立</th> <th>私立</th> <th>大学校</th> <th>短期大学校</th> <th>浪人</th> <th>その他</th> <th>未定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>81</td> <td>16</td> <td>37</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>141</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>63</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>139</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>50</td> <td>11</td> <td>36</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>139</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>63</td> <td>13</td> <td>24</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>150</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>66</td> <td>4</td> <td>37</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>147</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>314</td> </tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="566 1302 1939 1401" style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度卒業生から8クラスとなったが、大学進学者数（短大含む）は平均210名台で推移している。</li> <li>・平成21・22年度卒業生の四年制大学進学者数は170名台と若干増加している。</li> <li>・看護を主とした医療系専門学校進学者数が増加傾向にある。</li> </ul>													年度卒業	就職		専門学校	短期大学		四年制大学			文部省管外		その他			合計	就職	就職進学	公立	私立	国立	公立	私立	大学校	短期大学校	浪人	その他	未定	18	10	2	81	16	37	12	16	141	0	11	8	6	1	341	19	10	0	63	20	34	13	9	139	1	4	6	6	6	311	20	8	4	50	11	36	12	17	139	3	6	4	12	2	304	21	7	3	63	13	24	7	13	150	0	7	4	16	0	307	22	8	3	66	4	37	13	11	147	0	8	11	3	3	314
年度卒業	就職		専門学校	短期大学		四年制大学			文部省管外		その他				合計																																																																																																				
	就職	就職進学		公立	私立	国立	公立	私立	大学校	短期大学校	浪人	その他	未定																																																																																																						
18	10	2	81	16	37	12	16	141	0	11	8	6	1	341																																																																																																					
19	10	0	63	20	34	13	9	139	1	4	6	6	6	311																																																																																																					
20	8	4	50	11	36	12	17	139	3	6	4	12	2	304																																																																																																					
21	7	3	63	13	24	7	13	150	0	7	4	16	0	307																																																																																																					
22	8	3	66	4	37	13	11	147	0	8	11	3	3	314																																																																																																					

3. 学習状況  
模試状況

3. 学習状況

①模試状況

- ・ 進研模試 国数英総合度数分布 1年7月(入学時)と1年1月・2年1月との比較

入学 年度	1年1月		1年7月	
	58以上	48以上	58以上	48以上
18	3	47	3	56
19	1	31	3	45
20	2	63	3	47
21	4	64	4	54
22	9	60	6	71

入学 年度	2年1月		1年7月	
	58以上	48以上	58以上	48以上
17	0	21	1	40
18	5	26	3	56
19	1	31	3	45
20	4	20	3	47
21	6	47	4	54

- ・平成20年度入学生以降、全国偏差値58及び48以上の人数減少に歯止めがかかり、上昇が見られるようになっている。
- ・平成21年度入学生は、2年1月において全国偏差値58以上の人数は増加しているが、48以上は減少している。平成22年度入学生も、1年1月において同様の傾向であった。

学習時間

②学習時間（1週間の合計学習時間の平均） 単位：分

年度	1学年				2学年				3学年		
	1学期	夏休み	2学期	3学期	1学期	夏休み	2学期	3学期	1学期	夏休み	2学期
18	742	469	473	612	649	426	446	621	849	1482	901
19	764	587	741	673	682	520	725	702	797	1417	1186
20	610	592	787	396	579	520	764	430	857	1326	1405
21	862	596	900	789	654	485	540	335	716	1248	1326
22	770	754	767	684	653	522	654	750	875	1310	1050

- ・2年生の学習時間の減少が顕著であったが、平成22年度には改善が見られる。
- ・3年生においては、2学期以降進路決定等により、平均が下がっている。  
(進路希望が多岐であるため、次年度以降は、1日平均で1年120分・2年140分・3年160分を上回る人数を指標としたい)

4. 生徒指導

問題行動

4. 生徒指導

① 問題行動

【校内問題行動年度別集計表】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18	0	0	1	3	0	1	1	3	1	2	2	0	14
19	3	1	4	0	2	1	4	2	1	1	2	0	21
20	0	1	2	6	1	1	1	1	1	0	2	0	14
21	0	2	4	2	1	1	4	3	1	2	0	2	22
22	1	1	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	9

- ② 事件になるような大きな問題行動は起こっていないが、自己肯定感、規範意識が低い生徒がいる状況である。
- ③ 隔年で問題行動の件数が増えている。減少したことで気が緩み、指導の在り方にも問題があったと考える。
- ④ 冬場の問題行動は少ないが、夏休み中やそれ以降に問題行動が多発している。積極的な生徒指導の取り組みをし、事前予防の問題行動防止月間を設定するなど重点的指導が必要になっている。そして、基本的生活習慣を定着させる組織的な指導を徹底して行っていく。

⑤ 遅刻状況

【遅刻集計推移表】

年度	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18	444	601	742	744	844	677	1000	876	924	442		7294
19	270	505	742	591	544	672	740	601	731	481		5877
20	319	459	591	569	620	647	775	636	816	518		5950
21	318	454	518	590	670	598	702	761	769	436		5816
22	361	387	491	388	715	588	709	600	658	384		5281

- ・平成19年度より遅刻者数は減少傾向にあるが、一日平均30人強である。
- ・年度当初より遅刻する生徒が少なくはない。
- ・冬場の遅刻者が多い。
- ・特定の生徒が遅刻を繰り返している状況がある。
- ・登校するための立地条件が悪い（高台にあり坂道を登らなければならない）ところはあるが、生徒の遅刻に対する規範意識の薄さの表れである。年度当初から遅刻指導を組織的にし、「遅刻をさせない取り組み」を行っていく。

遅刻状況

休・転・退学等

③休・転・退学等

【生徒の休・転・退学等の異動者数の推移】

年度	転入	転出	退学	休学	復学	留学
18	1	7	11	15	1	1
19	0	6	10	8	3	0
20	0	2	4	4	0	0
21	0	3	8	3	0	0
22	0	9	2	2	1	0

- ・平成22年度は、休・転・退学者が若干増加した。
- ・休・転・退学の原因は、大半が他の生徒との人間関係を含むものであった。
- ・休・転・退学者の進路変更先は大半が通信制高校であった。
- ・保健室での相談活動は多いが、カウンセリングルームに訪れる生徒は皆無である。

クラブ加入状況

④クラブ加入状況

【クラブ加入率の推移】

年度	運動クラブ			文化クラブ			総計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
18	50%	46%	39%	18%	18%	15%	63%
19	56%	41%	41%	15%	14%	20%	62%
20	48%	45%	31%	18%	13%	15%	58%
21	51%	49%	41%	17%	16%	13%	62%
22	62%	44%	44%	75%	60%	61%	65%

- ・平成21年度はクラブ加入率が若干増加した。
- ・新入生に対してクラブ全員仮入部制度を行っているが、仮入部した生徒へ継続した取り組みを行うことが大きな課題となっている。

保健室利用状況等

⑤保健室利用状況等

【保健室利用状況】

年度	1 学年	2 学年	3 学年	計
18	910	1234	2354	4498
19	885	1265	1279	3429
20	804	769	942	2515
21	1019	936	1028	2983
22	628	828	1068	2524

- ・保健室利用者は年々大幅に減少している。
- ・外科的なものより内科的な訴えが多いのは例年と同様である。
- ・特に、平成21年度は2学期の中旬より、インフルエンザが流行し、非常に多くの罹患者が発生したため、保健室利用者が増加した模様であるが、平成22年度は平成20年度の状況とほぼ同じ状況である2、3年生の利用が多い。

5. 情報 (信頼される学校)

5. 情報 (信頼される学校)

- ・保護者に対して、各種だより等を発行し、学校状況説明の徹底を心掛けている。
- ・12月の懇談時に実施した学校評価アンケート結果では、「各種だよりが有効である」と答えた保護者は85.6%。
- ・「入学してよかったと感じる」と答えた保護者は83.8%であった。
- ・クラブ活動による地域のイベント協力や、学校が所在する町内会の定例清掃活動へクラブ単位で参加した。
- ・通学路・バス停周辺の地域美化活動の定例化など、ボランティア活動を積極的に推進した。